

< その他、取組に特徴のある事例 >

小学生による農業体験学習

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	佐賀県東松浦郡玄海町石田		
協定面積 4.9ha	田(99%)	畑(1%)	
	コシヒカリ	ミカン、タマネギ	
交付金額 102万円	個人配分		70%
	共同取組活動 (30%)	多面的活動費	6%
		共有機械取得費	6%
		役員報酬	9%
		積立	8%
その他(事務費、集落会合費)		1%	
協定参加者	構成員9人		

2. 取組に至る経緯

石田地区は、玄海町の中央部に位置し、集落は上場台地の斜面上に点在する農村集落であり、農地においてもその斜面上に昔ながらの石垣を積んだ棚田が海岸沿いまで広がっている町内でも有数の棚田の多い地区である。

しかし、急傾斜田や稲作を続けにくい田も多く、耕作の継続自体が年々難しくなってきたおり、耕作放棄地が増える状況にあった。

そこで将来を担う子供たちに農業体験をとおして農業の大切さを感じてもらうことを目的として小学生による体験学習の取り組みを行った。

3. 取組の内容

子供達に田植えなどの農業体験学習を行っている。

また、以前から近くを流れる石田川で、蛍の棲みやすい川づくり等の取組活動も行っており、自然にいる生物とのふれあいとして、モクズガニの放流も行っている。



田植え



モクズガニの放流

[集落の将来像]

集落を基礎とした営農組織の構築・充実を図る。



[将来像を実現するための活動目標]

耕作放棄地の発生防止	対象農地の監視及び管理(草払等)を行う。
水路・農道等の管理	定期的に草払いや溝さらえ、補修を行う。
多面的機能増進活動の充実	小学生に農業の体験学習として田植え(春)、稲刈り(秋)を体験させる。
共同機械等の購入及び利用	協定面積56%(2.7ha)以上分の籾を共同乾燥調整施設で処理する。
非農家との連携	非農家の1人と町内バドミントンクラブ部員を取組活動に参加させる。

[活動内容]

----- 農業生産活動等 -----	多面的機能増進活動	----- 農業生産活動の体制整備 -----
農地の耕作・管理(田4.8ha) 個別対応	小学生に農業体験をさせる(生徒数26人) 共同取組活動	共同乾燥調整施設で共同処理する(当初45%(2.2ha)、目標55%(2.7ha)) 共同取組活動
水路・農道の維持管理のため、定期的に草払いや溝等の清掃及び補修を行う(水路150m、道路200m、随時) 共同取組活動	景観作物作付け菜の花と彼岸花(約0.1ha) 共同取組活動	地域の連帯感を高めるため、地区内非農家を景観作物作付等の活動に参加させる。(非農家1名と生徒26名) 共同取組活動
耕作放棄地発生防止のため、協定農用地の見回りと管理の徹底に努める(年1回及び随時) 共同取組活動		

4. 取組による変化と今後の課題等

将来を担う子供たちが、この農業体験学習を通じて様々なことに対して興味を持つようになり、地区としてもこの自然環境を後世に残していくという気運が高まっている。

今後は、集落の中央を流れる石田川の保安全管理にも努め、モクズガニの放流や蛍の棲みやすい川づくり等の取組活動も続けたい。

地区内にある水田は、ほとんどが急傾斜田なのでこれからも変わらず、水田を維持できるかが課題となる。

[平成20年度までの主な成果]

共同乾燥調整施設で共同処理(当初45%(2.2ha)、H19実績57%(2.8ha)、H20実績57%(2.8ha))
 農業体験学習生徒数(26人)
 景観作物作付けによって季節の花がみられるようになった。